



船作り



5歳児

折り紙で作った船を「浮かべてみたい!」というつぶやきから船作りが始まりました。

○みずにつよいのはどれかな?



かみだと、、、
すぐしずんじゃう
ぎゅうにゅうぱくと
とれーはみずにつよい
んだ!

水に浮くもの、水に沈むものなど、素材によって違うことに気づきました。



○こんなふねをつくったよ!



いろいろな廃材の中から、水に浮かぶ素材を選んで船を作り、頑張ってくつったところをみんなに発表しました。

ぼくはにかいだてのふねをつくったよ!



○うかぶかな?

あれ?たおれちゃう、なんでだろう
おもいのかなあ

自分なりに原因を考えていました。



これはずしたらいいんだ!



2階建ての船を2つに分けることを思いつき、その場で作り直し試していました。

○もっとこうしよう!

どうすればいいんだろう、、、

そうだ!したにおおきいトレをつけたらいいかも!



ガムテープがみずにつよいよ!

廃材の性質や船の大きさを意識したり、貼り付けるテープによっても水への強さが違うことに気づきました。

また、「これ『プラ』って書いてある!」とプラスチック製の容器に書いてあるマークに気づき「これマークついてるからみずにつよいよ」と船作りに利用する姿もあります。

○のれるふねをつくりたい!

船が浮くまで諦めず、何度も作り直す根気強さや、原因や対策を考える思考力などさまざまな力が育ってきている中で、浮かぶ船から「今度は乗れる船を作ろうよ」と新たな目標を決めていました。「ここテープでとめたいからてつだって!」「わかった!ぼくがおさえておくね」など言葉を交わし協力し合ったり「もっとおおきくしようよ」「ここにつなげるのはどう?」とお互いの考えを伝え合いながら楽しんでいます。

